

KIFA 河内長野市国際交流協会 Report

Vol. 110

Jul. 2019



- 2019 年度総会
- 日本語サロン オープンデー
- ヤングアメリカンズ Japan ツアー
- フィリピン CPU 交流

- 国際料理教室 ～フランス編～
- コンニチハ！日本語サロンです
- 英語絵本の読み聞かせ
- インフォメーション



河内長野市国際交流協会 2019 年度総会

5月26日（日）市民交流センター 大会議室



河内長野市長 島田 智明氏、市議会議長 土井 昭氏、大阪府議会議員 西野 修平氏を来賓にお迎えし、2019 年度河内長野市国際交流協会の総会が開かれました。平成30 年度事業報告・決算報告、2019 年度事業計画案・予算案、会則変更、人事変更などが提案・審議され、無事承認されました。

山本昭彦 KIFA 会長 あいさつ

2019 年度の新しい年がスタートしました。KIFA としてやりたいことのひとつは、「市民に交流を楽しんでいただく」ということです。広く市民の方々に楽しんで交流していただきたいと思っています。難しいことを考えるのではなく、まずは純粋に交流を楽しむことで国際に関心を持っていただきたいと思っています。

姉妹都市カーメルとの連携は、今年で 25 周年になり、長い交流が続いています。世代交代を含めて、引き続きカーメルとの関係を保っていききたいと思います。

英語村については、国際交流協会のあるべき姿に則って、参画していききたいと思います。

やりたいことはたくさんありますが、時代はどんどん変わってきて、いまやグローバルな時代になってきました。たくさんの外国人の方が、旅行であるいは在住という形で来られるようになってきています。私達もそのような時代に合わせた形で、きちんと対応できるようにしていきたいと思っています。



たすけあい広場 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」

総会后、「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」を行いました。ゲームは、参加者を「ある見知らぬ国にやってきたばかりの小学 5 年生」とであると仮定し、一人で学校の図書館にいる時に大きな地震が起こるという想定で進みました。大音量で流れる校内アナウンス、飛び出した廊下に掲示された張り紙、避難所で配られるペットボトルのラベルなど、全てが数字すらわからない言葉で表示されています。さあ、あなたならどうしますか？

日本は今空前の訪日外国人ブーム。技能実習生などの在住外国人数も右肩上がり。その多くの外国人は、災害の時、日本人以上に不安な気持ちになることでしょう。

ゲームが終わったあと、言葉がわからない不安な気持ちを体験した参加者からは、「日本語の不自由な外国の方に安心をあたえられるのは、身近な人々＝地域の人達である。」「だからこそ国際交流の機会を増やし、日頃から互いに理解しあうことが大切だ。」等様々な声が聞かれました。



ゲームで得体の知れない(?)水を飲む参加者ラベルのロシア語は、飲料水とトイレ用の水言葉がわからないとき、あなたはどのようにする？

2019 年度 KIFA 役員 理事・監事

理事 会長	山本 明彦	個人(河内長野ガス)
理事 副会長	榊井 繁春	河内長野市
理事 副会長	飯阪 保	個人
理事 副会長	柴 理梨亜	個人
理事	藤本 眞裕	河内長野市教育委員会
理事	曾和 宗陽	河内長野市文化連盟
理事	高橋 成明	河内長野ライオンズクラブ
理事	山崎 一弘	河内長野ロータリークラブ
理事	森野 章二	(学)清教学園
理事	青木 浩子	大阪府立長野高等学校
理事	森 秀雄	(学)千代田学園
理事	浦 繁子	河内長野市地域女性団体協議会
理事	生地 孝至	河内長野市歯科医師会
理事	大原 一郎	河内長野市日本中国友好協会
理事	讃岐己樹也	(社)河内長野青年会議所
理事	辻 秀和	個人
理事 会計	上田雄三郎	個人
理事	榊村 博子	個人
理事	王 政	個人(中国)
理事	Young Huyen Emura	スイスアカデミー(スイス)
監事	土生 裕史	河内長野市医師会
監事	寺本 悟	公認会計士



島田智明 河内長野市長
ごあいさつ

5月20日に河内長野市が「日本遺産」に登録されました。日本遺産というのは2020年の東京オリンピックでたくさんの外国人が日本に来たときに、外国人が行けるところを100ヶ所くらいのリストにしておきたいという文化庁の構想です。日本遺産の目的としては、日本の文化またはそういうもののあるところを紹介するというので、河内長野市が選ばれたということは、非常に光栄なことだと思っております。東京オリンピックもありますし、こうして外国の方に河内長野を知っていただいて、厳しい財政状況の打開策の一つとして、インバウンド効果にも期待したいと思います。みなさんのご支援ご協力のもと、どんどん国際交流を深めて、外国人が起爆剤となって市の発展につながっていくように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



西野修平 大阪府議会議員
ごあいさつ

ヤングアメリカンズの公演には本当に感動しました。実は友人のお子さんが参加していたので、「どうやった？」と聞いてみました。友人は「うちの子は普段あまりしゃべらないが、これに参加してからものすごくしゃべるようになった」と答えてくれま

来賓のみなさまから

土井昭 市議会議員 ごあいさつ

6月のG20、9月のラグビー・ワールドカップ日本大会開催など、今年は大きな国際行事が続いて予定されています。また、4月からは外国人労働者の受け入れが拡大されるなど、様々な



目的で日本を訪れる外国人の方々が増加すると思われます。地域においてお互いの文化を認め合いながら、地域づくりに参加できる環境づくりが今後もますます必要になってまいります。皆様と力を合わせながら国際交流とグローバル化時代にふさわしい国際意識の高揚を図るため各施策に取り組んでまいります。

した。わずか数時間の中で、明るく過ごす、何事にもポジティブに過ごすことを学ばせてもらえるということは素晴らしい。ある意味、こどもの人生にも影響があるようなイベントだと思います。これだけではなく色々なイベントも提供していただいていることには、感謝したいと思います。

奥河内を舞台にした映画は「鬼ガール」という題名に正式に決まりまして、いよいよ本格撮影です。映画作りをきっかけに、街と街、世界との交流が始まって、色々な意味での発展への刺激にもつながって行くと思います。異文化との交流というのは無限大の可能性を秘めているなと改めて感じます。

第14回 日本語サロンオープンデー

～日本語で国際交流しませんか？～

日本語サロンオープンデーは、日本語サロンで日本語を学んでおられる外国の方々が日本語でスピーチをして、日頃の学習の成果を皆様に披露する場です。第1部は、学習者のスピーチとパフォーマンス。第2部は、KIFA会員や、一般市民の皆様との交流・懇談の時間です。

スピーチのトップバッターは、来日12年になる上村レオノラさん（フィリピン）による「[This is my story](#)」です。日本人と結婚して来日されたレオノラさん、ご自身の物語をスピーチしました。続いて、ちょっと緊張気味でスピーチしてくれたのが、来日2年目のホアン・ヴァン・ハオさん（ベトナム）です。河内長野でエンジニアとして働いているハオさんは「[ベトナムの](#)



3月17日(日) 市民交流センター（キックス） イベントホール

正月料理」のお話をしました。

ラストスピーカーは、1996年から英語教師として日本におられる藤居ライアンさん（アメリカ）です。母方の祖母が日本人というライアンさんは「[日本で起きた二つの奇跡](#)」というお話をしてくださいました。

続いてのパフォーマンスでは、フランス、ベトナム、フィリピン、ネパールの皆さんがにぎやかに歌や踊りを披露してくれました。

スピーチは、皆さん伝えたいことがいっぱいありすぎて、予定時間をオーバーして懇談の時間に割り込んでしまうほどの熱演でした。自分が外国に行き、その国の言葉でスピーチすることを考えると、彼らの努力、日本語サロンの先生方の熱意には、頭の下がる思いです。素晴らしいスピーチにもう一度拍手を贈りたいと思います。

ヤングアメリカンズ ジャパンツアー Natsu 2019

2019年5月5日(日) 6日(月・祝)



10連休の終盤の5月5日と6日、今年で6回目の河内長野での開催になるヤングアメリカンズ ジャパンツアーがラブリールホールで行われました。ヤングアメリカンズ(YA)は「ミュージックアウトリーチ(出張授業)」といって、学校教育だけでは実現が難しい「新しい学びの場」を提供します。キャストと呼ばれる YA の若者達と一緒に歌とダンスを学びながら異文化交流をして、約1時間の歌って踊るショーを作り上げていき、最終日には、全員でステージに上がり皆さんに披露します。今回の参加者は、小学生160名、中高生35名の計195名。南大阪での開催は河内長野だけということもあり、河内長野市からだけでなく、貝塚市や泉佐野市などから、近隣の市の子どもたちも沢山参加しました。ラブリールホールに集まった子供たちは、ワクワクしながらあたらしい「ジブン」探しの旅の出発を待っています。

お迎えするのは日本人4名を含む、総勢41名のYAのキャスト達です。まずは、ステージに全員集合して顔合わせをしてキャストが巧みに雰囲気盛り上げていきます。お借りしていたインカムから聞こえて来た「前列左端の男の子、緊張気味だからよろしくね」というキッズサポーターの声からも、彼らの細やかな気遣いがうかがえます。ステージで年齢によって3つのチームに分けられ、いよいよ歌と踊りのワークショップが始まります。



ワークショップは、ホールの3か所で行われます。子どもたちはその場所までダッシュで移動します。もちろんサポーターの皆さんが

注意深く見守っていますが、これは子供たちの緊張感を切らさないためのルールだそうです。普段は「廊下を走ってはいけません。」と言われている子どもたちにとっては、ちょっぴり冒険だったかもしれません。



歌のワークショップでは、各自がアカペラで自分の好きな歌を歌います。積極的に自分から手をあげて上手に歌う子もいれば、恥ずかしがってなかなか手を上げられない子もいます。キッズサポーターが優しく励ましてそんな子の背中をそっと押します。ダンスは、キャストのふりを見様見真似でまねをするところから始まります。大人ではなかなか覚えきれない動きを、子供たちはスッと体で覚えていきます。ワークショップの中で子供たちの動きを見ながらキャストの頭の中で、ステージの構成が出来上がっていきます。



ワークショップとワークショップの合間に、皆がまたステージに集まり、本番を意識した練習が始まります。本当に、子供たちの適応能力はすごいです。恥ずかし

そうにくねくねしていた子どもが、生き生きと歌い踊りだします。

初めて長時間お母さんのもとを離れる小さなお子さんもいて、泣きじゃくってお母さんから離れようとしなかったシーンもありましたが、お母さんとキッズサポーターの優しい励ましで、リタイアすることもなく、無事ワークショップに復帰しました。

フィリピン イロイロ市からやってきました！



6月6日から12日までの一週間、フィリピンのイロイロ島のセントラル・フィリピン大学 (CPU) ダンス・カンパニーが来日しました。彼らはイロイロ市の大学に通う学生と大学の学部長、コーディネーター、引率のランディ先生です。市内の学校で色々な国際交流を行いました。各学校では、盛大に歓迎していただき、また滞在中

のホストファミリーでも、家族のように暖かく迎えていただき、来日2日目にして、滞在を延長したいという声がCPUの学生からあがったとか。初めての日本での体験は、きっと彼らにとって一生の思い出となることでしょう。また、大学は世界各地での交流も積極的に進めているので、今後さらなる交流の機会が増えることに期待します。



市長表敬訪問



ウェルカムパーティー



天見小学校では創立130周年記念事業の一環「国際理解授業」のゲストとして参加



清教学園中学校では、剣道体験もしました



千代田学園短期大学では、けん玉、メンコ、大縄跳び、Tシャツ作りなどをしました



長野高校では、学生たちと色々な話をすることがありました



加賀田中学校では踊りのコスチュームを着せてあげたりもしました



最終日には、着物とお茶の体験をしました。綺麗な着物を着せてもらって、嬉しそうに何枚も写真を撮っていました。お茶の体験では、お茶碗の持ち方やお辞儀の仕方、お菓子のいただき方など、作法も教わっていました。正座はさすがにちょっとつらそうでしたが、なんとか最後までがんばっていました。その後、ホストファミリーも交えて、フェアウェル・パーティーに臨み、感謝の気持ちとともに日本を後にしました。



パリジェンヌのお料理教室

6月15日(土) 市民交流センター 食工房

講師 ヨアン・カさん

アムゾンヌ アン クイジナ フランセ!
Amusons-nous en cuisinant Français!

天見の南天苑で働くパリ出身のヨアンさんが今日の講師です。自分の家で、お母さんやお婆さんが作ってくれた料理を教えてくださいました。

最初に彼女が言ったのは「Amusons-nous en cuisinant Français!」(フランス料理を作りながら楽しみましょう!) その言葉通り、バックグラウンドにはフランスの音楽を流しながら、バタークリームを塗ったロールケーキ、じゃがいもとトマトのファルシ、サラダを、楽しい笑いを振りまきながら、次々に作っていきました。「私は玉ねぎ、好きじゃないから」と分量より玉ねぎを少なめにしたり、「塩味の濃さは人によって好みが違うから」と、極薄目の味付けにしたりと、レシピの応用編で進んでいきます。ちょっと失敗してしまったカラメルソースは、カリカリの食感を楽しめるようにバタークリームに混ぜたりと、変化に富んだ展開で、普段はレシピ通りに作ろうとしている日本人には、楽しい経験でした。「どっちでも良い」がいっぱいあって、気軽にお料理を楽しめる雰囲気、参加者の皆さんにも笑顔が広がっていきます。

一流ホテルやレストランのお料理とは一味違った家庭料理ですが、そのぶん暖かさに満ちています。お料理の手順ごとにヨアンさんが実演してくれるのでとてもわかり易かったです。

バタークリームを作ってロールケーキに塗り、一旦冷蔵庫へ。サラダを作り終え、いい匂いが漂ってファルシが焼きあがる頃にはフレンチ・ランチの出来上がり。23人の参加者は、テーブルに分かれて、ヨアンさんに教えていただいた「Bon appetit」(さあ召し上がれ)を言ってからお料理を楽しみました。

明るい雰囲気の教室を気に入って頂けたのでしょうか、今回もお二人の方がKIFA会員になってくださいました。フランス人に教えてもらうフランスの家庭料理、雰囲気も思考回路も少し違うところを体験できる事が国際料理教室の醍醐味と言えるのではないのでしょうか。



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
7月	Jul	7・14・21・28	9・16・23・30	4・11・18・25
8月	Aug	4・25	20・27	1・22・29
9月	Sep	1・8・15・22	3・10・17・24	5・12・19・26

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~16:00
千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00~11:45
市民交流センター(KICCS)3階

木曜日 Thursdays 18:00~20:00
ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラス スケジュール

コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)	
時間	14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	14:00~15:30	
開講日	7月	13	9・23	2・16	5・19	3・17
	8月	休講	休講	休講	休講	休講
	9月	14	10・24	3・17	6・20	4・18

■TREK 河内長野版英語村

ネイティブの英語の先生といっしょに、英語を楽しみましょう。

○日程

7月7日(日)、8月4日(日)、
9月1日(日)、10月6日(日)、
11月10日(日)

○開催時間

3・4年生 13:30~14:20、
5・6年生 15:00~15:50

定員に達したためお申し込み
受付は終了しました。



■世界とつながろう！

「夏休み子ども教室」の一環で、KIFAは、「世界とつながろう！」で、参加します。パスポート片手にいろいろな国のブースをまわろう！

○日時：8月23日(金) 13:00~14:30

○場所：市民交流センター3階 大会議室

○申込み・問合せ：市民交流センター 3階

河内長野市教育委員会 地域教育推進課

夏休み子ども教室

■夏休み子ども絵画教室

～アートでつながろう、姉妹都市のキッズたち！～

河内長野市の姉妹都市、アメリカインディアナ州カーメルには、ギネスブックに登録されている「世界で一番小さな子ども美術館」があります。そこにあなたの絵を飾りませんか？毎年、色々なテーマで描いて送る絵は、カーメルでも評判です。詳しくは、チラシをご覧ください。



世界一小さな子ども美術館

○日時：8月6日(火) 13:00~17:00

○場所：市民交流センター4階 創作工房

○定員：先着25名(対象：市内小・中学生)

○参加費：500円(参加申込みは7月5日(金)から)

○持ち物：水彩画用具、水筒

■英語村フェスタ

～エンジョイ・クッキング♪～

地域連携型英語村 半日英語村体験！
のなかで、KIFAはエンジョイ・クッキングを開催します。英語を使ってお料理するよ。

○日時：8月25日(日) 13:30~15:00

○場所：市民交流センター 4階 食工房

○対象：小学3年生~6年生

○申込み・問い合わせ：詳細はお問い合わせください

河内長野市教育委員会 教育総務課



■多文化の部屋

～動物愛護活動に目を～

イギリス出身のジリアンさんは、Four Legged Friends という動物愛護活動団体の代表として公共機関に保護された犬・猫の里親探しをしています。当日は、募金活動も行います。

○ゲスト：ジリアン 中筋さん

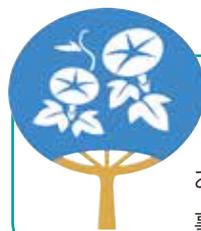
○日時：9月8日(日) 10:30~12:00

○場所：市民交流センター 3階 会議室2

○定員：先着25名

○申込み：8月6日(火)から

電話またはメールで事務局まで



事務局からのお知らせ

～お盆休み～

お盆の期間、8月13日~15日は、キックス3階の協会事務所はお休みです。

コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	7月	5・19	10・17	10・17
	8月	休講	休講	休講
	9月	6・20	11・25	11・25

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

ベトナムの正月料理

ホアン・ヴァン・ハオさん（ベトナム）



私はホアン・ヴァン・ハオと申します。ベトナムのハノイから来ました。河内長野市に住んでいます。日本に来てエンジニアとして働いて、1年半になります。今回、ベトナムの正月料理について話したいと思います。

ベトナムの正月料理はたくさん種類があります。例えば、ベトナムの春巻き N E M U、豚のハム、茹でたにわとり丸一羽、これは、先祖を敬う料理です。ソイガックと言う野菜で色を付けたおこわ、たけのこの煮物、ラッキョウの漬物、それからバインチュンなどです。この中で一番大事な料理はバインチュンです。これは四角いちまきです。日本のおせちと同じように大切にされています。このちまきには、ベトナム人なら誰もが知っている伝説があります。紀元前 2000 年位の 6 代の王フンヴォンには 33 人の王子がいました。フンヴォンは王子たちを呼んで言いました。「今度の正月に一番おいしい料理を持ってきた王子を次の王にする。」そこで、王様になろうと王子たちは、おいしい料理を見つけるために、山の中へ森の中へ海の中へと探しに出かけました。王様の 18 番目の王子ランリュウは、親を尊敬するやさしい王子でした。けれども彼は、母を早くに亡くし、頼れる人もいませんでした。それでランリュウ王子はどこへ探しに行け

ばよいかわからず、助けてくれる人もいないので、不安で出掛ける事ができませんでした。しかしある日ランリュウは夢を見ました。夢の中に神様が出てきました。神様は「米は人間が食べる物の中で一番貴重なものだ。丸い形は天を表し、四角い形は大地を表す。特別なラドンの葉で包み、中に入れる肉や豆は産んでくれた両親への感謝を象徴するものだ」こうしてランリュウは、神様の言った通りに、もち米で作ったバインチュンを王様に差し出しました。他の王子たちは世界中のおいしい料理を持ち帰って王様に差し出しましたが、王様を選んだのは、もち米で作ったちまき、バインチュンでした。こうしてランリュウ王子は、次の王様になりました。この時から、お正月にはバインチュンを食べるようになった、と言うことです。



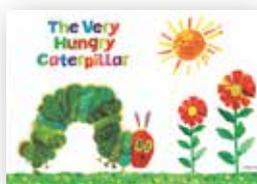
■ 英語で絵本の読み聞かせ

今年 4 月から市立図書館との連携で始まったネイティブによる英語絵本の読み聞かせ。知っているお話も、英語で聞くとまた違った感じで新鮮です。

絵本を読んでもくれるのは、フィリピン出身の岸本エリさんです。絵本の読み聞かせのあとは、英語の手遊びなどもおしえてくれます。参加してくれる子どもたちの中には、すでにかなり英語を知っている子もいて、読み聞かせの前や後に、エリさんと英語でやり取りしたり、楽しく過ごしています。英語が初めてのお友だちでも、絵を見ていくうちにだんだんわかってくるようです。

今後の日程などは、図書館にお問い合わせください。

「はらぺこあおむし」は、英語では「The Very Hungry Caterpillar」といいます



編

平成の時代に生まれ育った KIFA も、新しい令和の時代を迎えました。誕生の頃には想像もつかなかったような時代の変化をとげ、世はまさに国際化の真っ只中にいます。街を歩けば外国人を見かけない日はないほど。

集

1 月にはデンマークからの高校生、5 月にはヤングアメリカンズ、そして 6 月にはフィリピンの大学生をと、次々に外国のお客様をお迎えした KIFA。お手伝いさせていただいている学校での国際交流、学校ごとにそれぞれ工夫して、外国人の受け入れにもなれてきた様子です。今の子どもたちは、若いうちに外国の文化と接することで、将来は自然な形で異文化交流、多文化共生へとスムーズに進んでいくことでしょう。

後

先日、フィリピンの学生のホストファミリーの一人が、スマホを介して会話されているのを目撃しました。テクノロジーの進化もグローバル化に役立っているのを実感した一瞬でした。

記

gateau

<http://www.kifa-web.jp/>



無料
メールマガジン
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報をいち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFA ホームページから